



子ども

家庭で暴力を受けている子どもは、助けを必要としています。

DVは子どもにも影響を与えます

子どもがDVを経験すると、成長に悪影響を及ぼします。また、暴力が直接子どもに向けられていない場合も同様です。

声を上げることなく苦しんでいる子どもや、さまざまな症状を示す子どもがいます。例：学校での問題やおねしょ、頭痛、摂食・睡眠障害、他の子どもとの交友関係の問題、攻撃性など。

こちらで子どもの支援が受けられます

オブファーhilfue「Opferhilfe」（Opferhilfe）の相談窓口ではDV、DVを受けた子どもの相談を行っています。オブファーhilfue「Opferhilfe」（Opferhilfe）に関する詳細情報は、こちらをご覧ください。

ベルン州の教育相談窓口は、子どもの健全な成長を支援しています。子どもや若者は、家族の対立などについて、ここで助けが得られます。

子どもにできることは？

DVを受けている子どもは、家族以外の人に相談することが大切です。例：教師、学校のソーシャルワーカー、両親の友人、隣人。

プロ ユーヴェントウーテ(Pro Juventute)では、昼夜を問わず電話で相談できます。専門家は相談内容について誰にも話しません。彼らは話に耳を傾け、解決策を探る手助けをします。プロ ユーヴェントウーテ(Pro Juventute)への通話は無料です。匿名で相談できます。また、プロ ユーヴェントウーテ(Pro Juventute)は、SMSやチャットE、Eメールでも連絡できます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-bern.ch/ja/haeusliche-gewalt/kinder